

# もめ事の解決方法学ぶ

生徒役に見立てた参加者を前にしてピア・メディエーションの実践方法を解説する水野教授



## 茨田高校で高校教諭向け講座

●鶴見区

仲間同士の

向上などを図るために、NPO法人「シヴ

麗澤大（千葉県）の水野修次郎教授が「悪意

事を中立の第三者を立てて解決する「ピア・

イル・プロネット関西」（津田尚廣代表、

ほとんどの原因は誤解である」と解説。学校

M）を教育に取り入れる府立茨田高校（中村

北区）の協力を得て、PMを授業に導入し

現場で生かすために生徒の「目や態度から出

光男校長、鶴見区安田1丁目）などは2、3

た。PMを学ぶ年に一度の選択講座「チャレ

る非言語サインを受け取る力が大事」と話し

の両日、府立校の教諭ら向けのPM講習会を

ンジくえすと」を実施するほか、PMクラブ

た。講義後にはワークショップを実施。犬に

同校内で開いた。約20校から45人が参加し、

（木原雅史顧問）を設立するなどした。

かまれた中学生の実例などを取り上げ、第三者や加害者の立場で、

実践方法を学んだ。

この講習会は、07年に引き続き2回目。同NPOの津田代表ら

PMを学んだ。

同校では2006年度から、生徒らのコミュニケーション能力の

が講師を務めた。3日の講習会では、

（山本健一）

